

脳梗塞に対する再生医療等製品 HUNS001 の医師主導治験 (RAINBOW 研究) の結果が論文公表されました

【ポイント】

- ・ 北海道大学病院脳神経外科(藤村 幹教授)の研究グループは、重度の麻痺が生じた脳梗塞患者さんに対して自家骨髄間葉系幹細胞製品(HUNS001)を脳内に移植する医師主導治験を行い、2024年3月28日に試験結果が国際学術誌に公表されました。
- ・ 現在、北海道大学発スタートアップ(株式会社 RAINBOW)が主体となって、本技術を応用した次の治験を準備しています。

【概要】

北海道大学では、2001年より自家骨髄間葉系幹細胞を用いた研究を進めてきました。2017年より第1相医師主導治験「脳梗塞急性期患者を対象とした自家 BMSC 脳内投与による再生治療の安全性及び有効性を検討する第I相試験」(RAINBOW 研究)を開始し、2021年に終了しました。

(前回プレスリリース参照：

https://www.huhp.hokudai.ac.jp/wp-content/uploads/2021/08/release_20210806.pdf)

本試験では、脳内に移植する HUNS001 をあらかじめ超常磁性酸化鉄(フェルカルボトラン)で標識したことで、細胞移植後1年間を通して MRI による評価(細胞追跡)が可能となりました。細胞追跡により、移植後1~6か月で生着細胞が脳梗塞領域に向かって移動することが証明されました。また生着細胞の定量的な評価も可能となり、細胞追跡は HUNS001 の治療機序の解明に非常に有効でした。

現在、北大発認定スタートアップ企業である株式会社 RAINBOW が主体となって、HUNS001 に関する次の治験を準備しています。2024年末の試験開始を予定していますが、詳細については後日公表いたしますのでお待ちください。

なお、本研究成果は2024年3月28日(金)公開の Med 誌に掲載されました。

論文名：Intracerebral transplantation of MRI-trackable autologous bone marrow stromal cells for patients with subacute ischemic stroke

URL：<https://www.sciencedirect.com/science/article/pii/S2666634024000795>

お問い合わせ先

北海道大学病院脳神経外科 助教 川堀 真人(かわぼり まさひと)

T E L 011-706-5987 F A X 011-708-7737 メール kawabori@med.hokudai.ac.jp

配信元

北海道大学病院総務課総務係 (〒060-8648 札幌市北区北 14 条西 5 丁目)

T E L 011-706-7631 F A X 011-706-7627 メール pr_office@huhp.hokudai.ac.jp